

# RICOH REPORT

2013

夏号

**RICOH**  
imagine. change.

## Contents

- 1 リコーグループについて
- 3 トップメッセージ
- 5 決算レポート
- 7 事業紹介
  - ▶ ワンストップソリューションで新しいワークスタイルを支援
- 9 サステナブルな企業活動
- 11 ニュースファイル
  - ▶ GRシリーズ最高画質のコンパクトデジタルカメラ「GR」を新発売
  - ▶ 「Top 100 グローバル・イノベーター 2012」に選出
  - ▶ 国内の設計・生産機能を再編
- 13 株主様 Information

裏表紙 株主メモ、INFORMATION

## リコー グループに ついて

リコーグループは、約200の国と地域で、リコーバリュー（「地球にやさしい」「人にやさしい」「知識創造を簡単に」）をお客様に提供することを目的に事業展開を行っています。人と情報のかかわりの中で常に新しい価値を生み出す製品—オフィス向け画像機器、プロダクションプリンター、サプライ製品、デジタルカメラ、またサーマルメディア、半導体、FAカメラなど産業用製品—、さらにマネージド・ドキュメント・サービス（MDS）、ITサービスを含むさまざまなサービス事業やソリューションといった幅広い分野でビジネスを行っています。高い技術力に加え、リコーグループの際立った顧客接点力や持続可能社会の実現への積極的な取り組みが高い評価をいただいています。

### 数字で見る リコー

#### 連結売上高

**1兆9,244**億円  
(2013年3月期)

#### 事業エリア

全世界  
**約200**の国と地域  
(2013年3月31日現在)

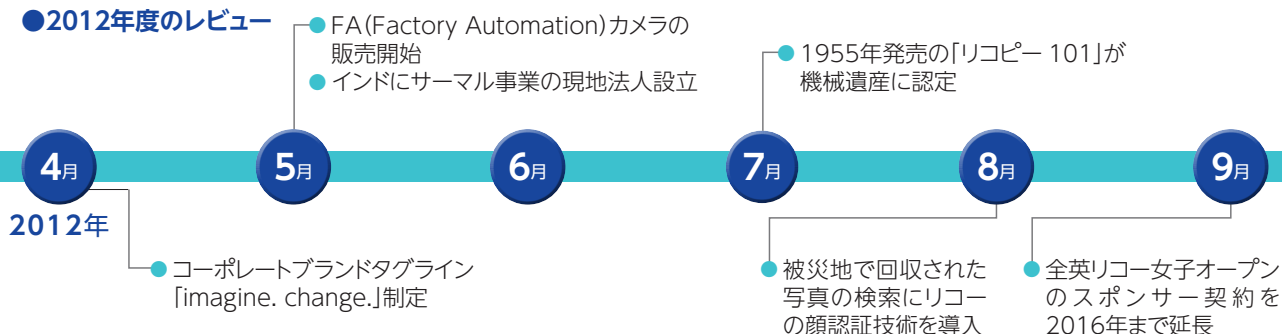
#### A3複合機

世界シェア**1位**\*1  
(2012年)  
(単機能コピー機を含む)

#### マネージド・ プリント・サービス

世界**第2位**\*2  
(2011年、  
売上金額ベース)

#### ●2012年度のレビュー





### グローバル100

(世界で最も  
持続可能な100社)  
**9年連続選出**

### 世界で最も 倫理的な企業

**5年連続選出**

### FTSE4Good Index Series<sup>※3</sup>

**10年連続採用**

### 国内外特許 保有権利数

**39,254件**

(2012年3月31日現在)

※1 出典：  
IDC's Worldwide Quarterly Hardcopy  
Peripherals Tracker, 2012Q4  
※2 出典：  
Gartner, Inc., Competitive  
Landscape:Managed Print  
Services, Worldwide,  
December 31, 2012  
※3 社会的責任投資の世界的な株式インデ  
ックスのひとつ

10月

● リコーのソリューション、  
サービスがIMF・世銀  
総会で活躍

● 「PENTAX K-01」がドイツのデザイン賞  
“German Design Award 2013”で  
金賞を受賞

11月

● 国内の設計・生産機能を再編 [詳細はP12へ](#)  
● 社会貢献活動が企業フィランソロピー大賞を受賞  
[詳細はP10へ](#)

12月

● 「Top 100 グローバル・  
イノベーター 2012」に選出  
[詳細はP11へ](#)

1月

2013年

2月

● 代表取締役 社長執行役員 交代を発表  
● 製品の環境性能が米国EPEAT  
で高評価を獲得 [詳細はP9へ](#)

● 韓国に販売会社を設立  
● 中国・アジア地域の  
経営体制を強化

3月

# 三浦社長に聞く リコーグループを取り巻く 環境と経営方針について

代表取締役 社長執行役員・CEO  
三浦 善司



## 経営環境に関する認識

**Q** 日本や世界の経済動向をどのように見えていますか。

**A** 日本経済は、経済政策への期待から一部に先行きの明るさが見え始めています。一方、世界経済は、米国で緩やかな回復が見られるものの、欧州での債務問題による景気低迷、中国をはじめとする新興国での成長減速など、依然として不透明な状況が続いています。

**Q** 市場や顧客にはどのような変化が見られますか。

**A** 画像&ソリューション分野は、事業構造の転換期と認識しています。

先進国市場の複写機や複合機の需要は、成長率が伸び悩む傾向にあります。オフィスで処理される情報量は増えるものの、紙に頼らないコミュニケーションの拡大や、情報の出力先の多様化などが要因と考えています。また、コスト意識の高まりに、クラウドコンピューティングの進展が相まって、お客様の求める価値が「モノ(製品の所有)」に加えて「コト(サービスの利用)」の重視へと変化しています。つまり、製品の価格や機能だけで、お客様のご要望に十分に答えることは一層困難になりつつあります。

新興国市場は、一部で成長減速が見られますが、依然として拡大が続いています。ただし、国や地域によってお客様が求める

製品の性能やサービスの内容は多岐に渡り、各地域の特性に応える事業活動が必要です。

## 第17次中期経営計画について

**Q** 第17次中期経営計画ではどのような戦略を展開していますか。

**A** 基本戦略として「事業の創造と集中」と「高効率経営の実現」を掲げています。

「事業の創造と集中」では「新陳代謝」をキーワードに「基盤事業による収益力の徹底強化」、「基盤事業における新収益モデルの確立」、「新規育成事業の成長加速」を重点施策として展開しています。

「高効率経営の実現」では「体質改造」をキーワードに「経営効率のさらなる向上」を重点施策として組織・業務プロセス・人員配置などのあり方を見直す活動を展開しています。

### 2013年度経営基本方針

- 17次中計スローガン  
「体質改造」と「成長」の同時実現
- 基本方針  
体質改造の文化を定着させて  
成長を加速する
- 重点施策  
I. 基盤事業による収益力の徹底強化  
II. 基盤事業における新収益モデルの確立  
III. 新規育成事業の成長加速  
IV. 経営効率のさらなる向上

#### 企業価値の 向上

株主価値  
お客様価値  
社会的価値  
従業員価値  
等

## 2013年度における取り組みについて

### Q 2013年度はどのような経営方針ですか。

A リコグループは、世界金融危機、東日本大震災、タイにおける大洪水などの影響による非常事態からの脱却のみならず、さらなる飛躍を遂げるために多岐にわたる施策を積み重ねてきました。2013年度は、その真価が問われる重要な一年と位置づけ、体質改造の文化を定着させて成長を加速します。一連の取り組みを完遂し本格的な成長軌道へと移行するために、4つの重点施策に注力します。

### Q どのように基盤事業の収益力を強化するのですか。

A オフィスイメージングでは、先進国市場は、製品の性能や価格での競争力の向上や、お客様に対応するスピードを上げることで、マーケットシェアをさらに高めます。また、開発、生産、販売などの業務効率を向上させ、より多くの利益を創出します。

新興国市場は、販売網の拡充やITサービス企業の買収などの効果を刈り取り、収益の拡大を加速します。また、現地が望む機能や価格などから技術に遡って商品やサービスを創り込み、市場として大きな成長が期待できる国や地域を開拓します。

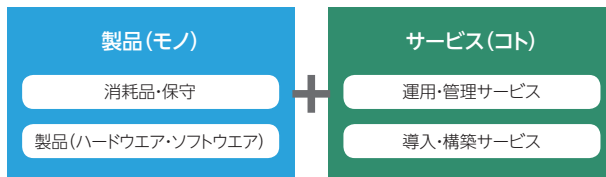
プロダクションプリンティングでは、商品群の拡充により販売台数を伸ばし、印刷量を増加させることで、収益を増大します。また、商用印刷などの新しいお客様に対するソリューションも強化します。

### Q どのように基盤事業の新しい収益モデルを確立しますか。

A お客様との接点力を活かし、複合機やプリンターに隣接する領域においても、お客様の課題解決により幅広く貢献し、新たな成長機会を創出します。マネージド・ドキュメント・サービスやITサービスの拡大に加えて、プロジェクションシステム、ビデオ会議システム、インタラクティブホワイトボードなどのコミュニケーション領域を強化します。また、スマートフォンやタブレット

型PCとさまざまな製品との連携機能を進化させ、ワークスタイルの変革に繋がる価値を創造します。

### ■ 製品(モノ)+サービス(コト)でお客様価値を提供



### Q 画像&ソリューション分野以外で、どのように新しい事業の柱を築くのですか。

A 光学、画像処理、材料、環境などの技術を活用した先駆的な製品やサービスを拡充します。主に産業分野では、光学技術の応用領域を拡大し、新しいデバイスやモジュールを開発、販売します。コンシューマ分野では、デジタル一眼カメラを核に、商品力と販売力の双方を強化し、より確固たるポジションを築きます。

さらには、長期的に発展するために、未来を見据えた新事業の探索と開発プロセスを強化します。

### Q どのように経営効率を向上させるのですか。

A 従業員一人ひとりが、お客様の満足と感動を追求することにより一層集中するよう体質改造を進めます。本来の機能を効率的に果たせるよう組織の再編、業務プロセスの見直し、人員の成長分野への重点配置等を実施します。

### Q 2013年度ではどのような目標を設定していますか。

A 17次中計の最終年度である2013年度は次の目標達成を目指します。

売上高	2兆1,000億円
営業利益	1,400億円
営業利益率	6.7%
R O E	8.6%
*前提為替レート 1ドル=95.00円、1ユーロ=125.00円	

## 売上高

国内は、不透明な経済状況などを背景に需要が伸び悩み前年度比1.8%の減少となりました。海外は、欧州、中国などで景気の減速感は見られたものの、高付加価値製品の販売、サービス事業が堅調に推移し、前年度比3.6%の増収となりました。その結果、国内外合計の売上高は19,244億円と前年度比1.1%の増加となりました。

## 営業利益、株主資本 当期純利益率(ROE)

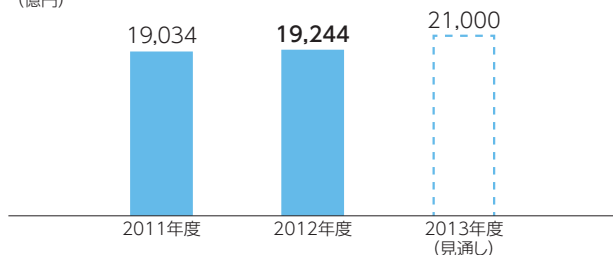
高付加価値製品・サービス増加による利益率改善に加え、製造原価の低減、構造改革の効果による経費削減などにより、634億円となりました。利益の改善により、株主資本当期純利益率(ROE)も改善し3.8%となりました。

## 1株当たり配当金

業績の回復をふまえ、期末配当金を16.5円(8円の増配)とし、年間配当金を29円としました。2014年3月期の配当金は、4円増配の年間33円を予定しています。

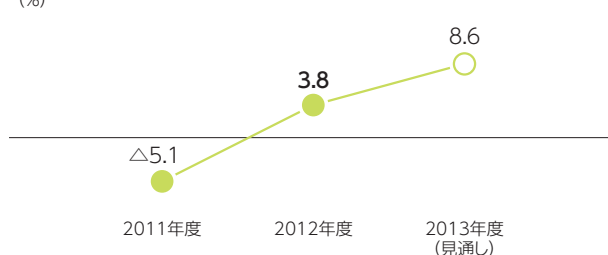
### ● 売上高

(億円)



### ● 株主資本当期純利益率(ROE)

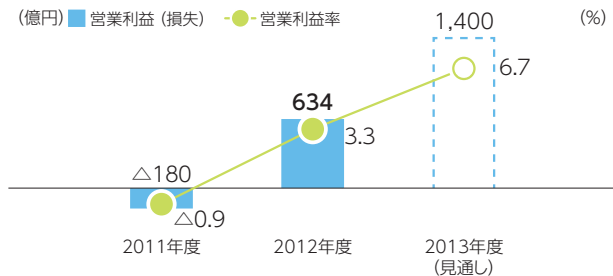
(%)



### ● 営業利益(損失)・営業利益率

(億円)

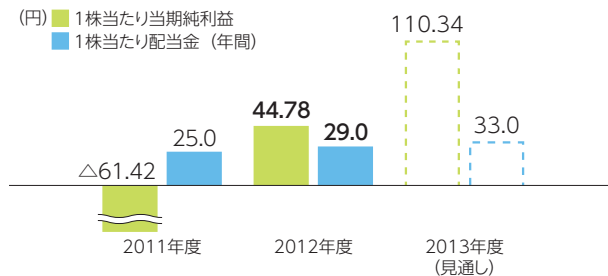
■ 営業利益(損失) ● 営業利益率



### ● 1株当たり当期純利益・1株当たり配当金

(円)

■ 1株当たり当期純利益  
■ 1株当たり配当金(年間)



## ● 分野別売上高

売上高 構成比 対前年伸び率

### その他分野

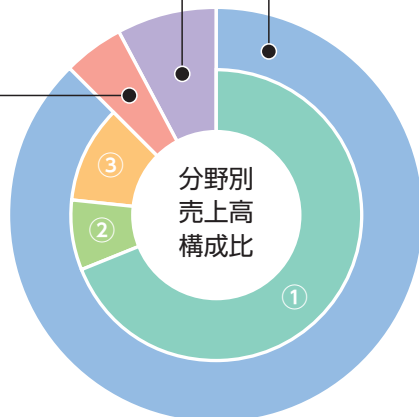
1,460億円 7.7%  
+8.7%

- 前年度下期より加わったペンタックスリコーイメージング(株)などの影響もあり、増収となりました。

### 産業分野

930億円 4.8%  
-5.1%

- サーマルメディアは前年度に比べ増加しましたが、半導体や電装ユニットで減収となりました。



## 画像&ソリューション分野

16,853億円 87.5% +0.9%

### ① オフィスイメージング

13,296億円 69.1% +0.5%

- 複写機・複合機は、モノクロ機が伸び悩んだものの、海外を中心にカラー機が堅調に推移しました。プリンターは、国内はやや伸び悩んだものの、海外ではハードウェア・ノンハードウェアとも堅調に推移しました。マネージド・ドキュメント・サービス(MDS)\*は、欧米を中心に2桁成長を継続しています。

\*マネージド・ドキュメント・サービス(MDS)  
お客様の文書に関わる運用管理業務を受託し、コスト削減と生産性向上を実現するサービスです。

### ② プロダクションプリンティング

1,470億円 7.6% -1.0%

- モノクロ機は伸び悩んだものの、注力するカラーカットシート機が国内外とも堅調に推移しました。

### ③ ネットワークシステムソリューション

2,087億円 10.8% +4.8%

- ITサービスが海外を中心に伸長し、2桁成長を達成しました。

## ● 地域別売上高

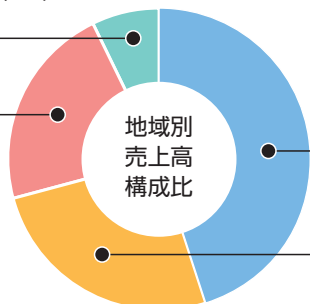
売上高 構成比 対前年伸び率

### その他

1,357億円 7.1%  
+6.9%

### 欧州・中東・アフリカ

4,217億円 21.9%  
+0.1%



### 日本

8,703億円 45.2%  
-1.8%

### 米州

4,966億円 25.8%  
+5.9%

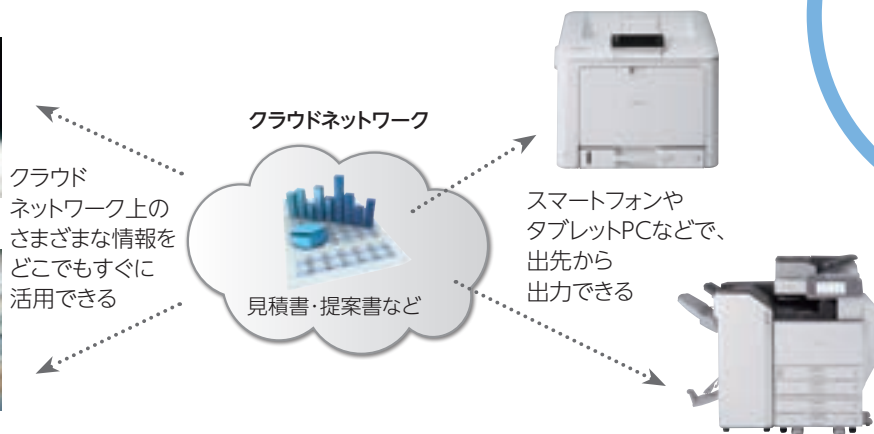
# ワンストップソリューションで新しいワークス

リコーグループの強みは、グローバルで一貫した商品ラインアップと、充実した販売・サポート体制でお客様ごとに適したソリューションを提供することです。お客様の環境やニーズの変化を捉え、従来のドキュメントの領域に加えて、ITサービスやコミュニケーションの領域において、新しい製品やサービスを次々と生み出し、あらゆる規模、業態のお客様にワンストップで提供しています。

## 1. ドキュメント

いつでも、どこでも、すぐにドキュメントを活用・共有できる

機器・ドキュメント・情報インフラすべてが連動した効率的かつ最適なソリューションを提供しています。



## 2. ITサービス

リコーがお客様のIT部門となることで、  
お客様は安心して  
コアビジネスに専念できます

基盤事業のドキュメントビジネスに加え、お客様のビジネスに欠かせないITサービスにまで提供領域を拡大しています。

お客様

コアビジネスに専念

リコーがお客様のIT部門になる

複合機の導入・保守	ITシステムの構築・運用・管理
 	  
複合機の導入・保守に加え、ITシステムの構築・運用・管理までワンストップでサポート	



# タイトルを支援

## 3. コミュニケーション

いつでも、どこでも、簡単にコミュニケーションできる

従来の紙、電子文書の他に、オフィス外でタブレット端末やクラウドサービスを活用してドキュメントや情報のやりとりをするスタイルが加わり、プロジェクターやビデオ会議といった遠隔コミュニケーションの機会も増加しています。

「モノ+コト」により  
お客様価値を増大

Service  
& Solution  
「コト」



多拠点とリアルタイムでつながる



ユニファイド  
コミュニケーション  
システム (UCS)



プロジェクションシステム

クラウド  
ネットワーク

パソコンなどの  
データを映し出す  
だけでなく、ディスプレ  
イへのなめらかな書き込みや  
遠隔地との  
コミュニケーションも  
実現します。



社内のちょっとした空きスペースで、  
世界中と簡単につながる

NEW



インタラクティブ  
ホワイトボード



同じ資料を見ながらコミュニケーションできる

# 持続可能な社会づくりに責任を果たし、リコー CSR・環境経営を推進しています。

## ● 製品の環境性能が米国EPEATで高評価を獲得

リコーは、米国・連邦政府が調達要件として採用している環境評価システム「EPEAT (Electronic Product Environmental Assessment Tool)」が、2月から複合機やプリンターも対象製品に加えたことに伴い、システムへの製品登録を開始しました。

EPEATは、環境に配慮した製品の市場開発・販売促進を目的にしており、省資源、省エネルギー、有害物質の削減・禁止などについて審査され、基準を満たす割合により「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」いずれかの評価で登録されます。

リコーの登録状況は、計68機種となっており、内訳は、「ゴールド」15機種、「シルバー」52機種、「ブロンズ」1機種で、画像機器のゴールド登録数はリコーが最多となっています。(5月16日時点)

今後、豪州でもEPEATによる政府調達が実施される予定となっており、製品の環境性能向上は環境保全のみならず、事業成長の視点からもますます重要になっています。

今後発売する主力製品については、すべて「ゴールド」の登録を目指しており、高い環境性能を武器に市場での競争力を高めていきます。



ゴールド登録製品のロゴマーク



ゴールド登録されたAficio MP C5502

# グループの成長ポテンシャルを創造する

## ● 「市村自然塾 関東」が企業フィランソロピー大賞を受賞

創業者 市村 清の生誕100周年を記念して、2002年に立上げた特定非営利活動法人「市村自然塾 関東」の取り組みが、「企業フィランソロピー大賞」を受賞し、2月28日に表彰式が行われました。

「企業フィランソロピー大賞」とは、社会の課題解決のために、自社の経営資源を有効に活かし、経営理念に則った社会貢献活動を顕彰することを目的に、公益社団法人日本フィランソロピー協会が2003年に創設したものです。

「市村自然塾 関東」は、「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念とした9ヶ月間にわたる通年プログラムで、農作業を中心とした自然体験活動と共同生活を通じた学びの場を提供し、子ども達の健全な育成・成長を支援しています。2002年の開塾以来、10年以上にわたる継続的な取り組みが高く評価され今回の受賞となりました。

また、「社会貢献積立金制度」という株主様の協力を得るための仕組みづくりの新規性、さらには、すべての環境活動・社会貢献活動を「貢献」ではなく、企業の「責任」と明確に位置づけている点が産業界でも特に抜きん出ているとの評価をいただきました。



公益社団法人 日本フィランソロピー協会・高橋陽子理事長(左) 桜井正光前会長(右)



市村自然塾 関東で農作業する子供たち

リコーグループでは、さまざまな取り組みを行っています。  
ここではその主なものをご紹介します。

## 01 GRシリーズ最高画質のコンパクト デジタルカメラ「GR」を新発売

ペンタックスリコーイメージング株式会社は、5月24日に高画質と携帯性を両立した高級コンパクトデジタルカメラ「GRシリーズ」の最新機種「GR」を発売しました。

本製品は、2011年10月に発売した「GR DIGITAL IV」の後継機として、GRシリーズの一貫した思想である高画質を手軽にというコンセプトを継承しながら、リコーとペンタックスの技術を融合し、基本性能、機能を高めたモデルとして開発しました。

世界最小\*ボディに、GR史上最高性能の新開発「GRレンズ」を搭載し、一眼レフでも採用されるAPS-Cサイズ大型センサー、高性能画像処理エンジン「GR ENGINE V」、ローパスフィルターレス仕様を組み合わせ、高い解像度と階調豊かな色再現性、高感度画質の向上を実現するとともに、シャッターチャンスに強く、ストリートスナップなどで快適な撮影が楽しめる速写性能、操作性も実現しています。

\*APS-CサイズのCMOSセンサーを搭載したカメラにおいて世界最小・最軽量。2013年5月1日現在



**PENTAX**  
A RICOH COMPANY

## 02 「Top 100 グローバル・イノベーター 2012」に選出 ～革新的な企業 トップ100社～

リコーは、トムソン・ロイター\*が、世界で最も革新的な企業や研究機関を選出する『Top 100 グローバル・イノベーター 2012』で「世界のトップ100社」に選ばれました。

本アワードでは、トムソン・ロイターの保有するデータと同社の定める基準に基づき「革新的であること」、「知的財産権保護の遵守に努めていること」、また、「世界に影響を及ぼすような発明をもたらしたこと」が認められた企業が選定の対象となります。

リコーは、選考基準のうち「特許数」、「特許ポートフォリオの世界的な広がり」、「引用における特許の影響力」で高い評価を得ており、リコーの技術革新への継続的な取り組みが認められた結果と考えています。

今後も、リコーは革新的な技術開発に積極的に取り組み、お客様への新たな価値提供に努めてまいります。

\*トムソン・ロイターは企業と専門家のために「インテリジェント情報」を提供する企業グループです。本社をニューヨークに、また主な事業所をロンドンと米国ミネソタ州イーガンに構え、100カ国以上に約60,000人の従業員を擁しています。

2012 THOMSON REUTERS  
**TOP 100**  
GLOBAL INNOVATORS

## 03 国内の設計・生産機能を再編

リコーグループは、4月1日、日本国内における設計機能および生産機能を再編しました。本再編では、東北リコー(株)(TR)、リコーユニテクノ(株)(RUC)、リコーエレメックス(株)(REX)の各社が持つ設計機能および(株)リコーの設計機能の一部を新会社リコーテクノロジーズ(株)に移管しています。また、TR、RUC、リコープリンティングシステムズ(株)(RPS)の各社が持つ生産機能および(株)リコーの生産機能の一部を新会社リコーインダストリー(株)に移管しました。

設計機能の再編により、会社・組織の垣根を取り払った開発体制と仕組みを構築することで、設計効率と開発力の最大化を狙います。また、生産機能の再編では、経営資源を効率的に利用しさらなる低コストなものづくり体質への強化を図ります。

### 会社再編図

設計機能 生産機能

#### 新設計会社リコーテクノロジーズ

リコー(一部)

TR

RUC

REX (画像ソリューションのみ)



本社：海老名

#### 新生産会社リコーインダストリー

リコー(一部)

TR

RUC

RPS



本社：厚木

### リコー所属の森田理香子プロ 開幕戦優勝

3月10日、リコー所属の森田理香子プロがLPGAツアー開幕戦ダイキンオーキッドレディスゴルフトーナメントで優勝し、11月28日から開催されるLPGAツアーチャンピオンシップリコーカップへの出場権を早々に獲得しました。

森田プロは、続く第2戦でも3位、第3戦2位と好調を維持しており、8月1日から開催される全英リコー女子オープンへの出場が期待されます。

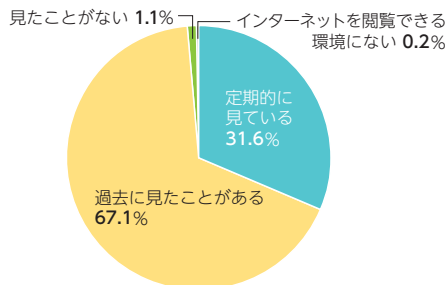
リコーは、森田選手の「常に勝利を目指して挑戦し続ける」プレースタイルに共感し、また将来日本を代表するゴルファーになることを期待し、2011年に3年間の所属契約を結びました。



## ■株主様アンケート結果のご報告

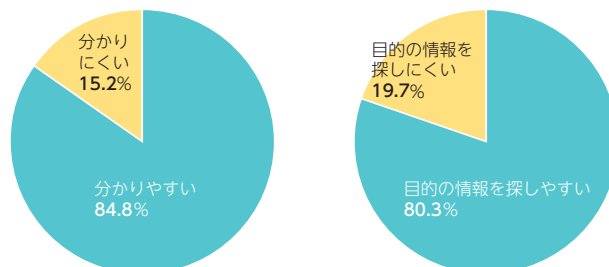
「RICOH REPORT2012(冬号)」にて実施いたしましたアンケートに対して、1,769名の方からご返信をいただきました。ご協力いただきました株主の皆様へ御礼を申し上げますとともに、その集計結果の一部をご報告いたします。

### Q1 当社ホームページのIRサイトをご覧になったことがありますか。(単数回答)



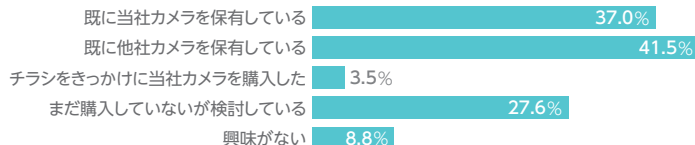
約3割の株主の皆様定期的にIRサイトをご覧いただいておりますが、今後はより多くの株主の皆様にご覧いただける魅力あるIRサイトを目指してまいります。また、四半期決算ごとに決算情報も掲載しておりますのでぜひご覧ください。

### Q2 「Q1で①②と回答した方」当社ホームページは分かりやすいですか。(単数回答)



「分かりやすい」「目的の情報を探しやすい」とともに8割以上の株主の皆様が高い評価をいただきました。今後もリコーについてご理解いただくために改善してまいります。

### Q3 2011年よりカメラの「特別限定販売のご案内」のチラシを同封しておりますが、ご購入の検討についてご意見をお聞かせください。(複数回答)



回数を重ねるごとにご購入いただき、またご購入を検討くださる株主様が增加しております。今後もペンタックスリコーイメージング(株)のカメラの良さを知っていただき、カメラに親しんでいただけるよう継続してご案内をしてまいります。

株主の皆様からのご意見・ご要望は、今後の株主施策やIR活動の参考とさせていただきます。今後も皆様とのコミュニケーションの一環として、アンケートを行ってまいりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

## ■ 株主様向け企画のご報告

リコーでは、株主の皆様当社に対するご理解を深めていただくため、株主の皆様とのコミュニケーションを図る企画を開催しております。



### リコーフィル演奏会



2月24日(東京)、ご応募いただいた中から抽選で選ばれた株主の皆様(ペア200組400名様)を「リコーフィルハーモニーオーケストラ第53回演奏会」にご招待いたしました。

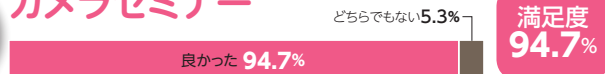


#### 株主の皆様 からのコメント

- リコー社員の方々のハイレベルな音を楽しみました。
- レベルが高く、普段聴かない曲もあり楽しめました。
- クラシック素人なので、ポピュラーな曲もあると良いと思います。



### カメラセミナー



3月17日(東京)、ご応募いただいた中から抽選で選ばれた株主の皆様25名にご参加いただきカメラセミナーを実施いたしました。当日は、本社にてカメラの使用方を説明し、その後皇居および日比谷公園にて自由に撮影いただきました。午後は、ペンタックスリコーイメージング(株)の永田町オフィスにて講習会を行いました。

#### 株主の皆様 からのコメント

- リコーのカメラを知るきっかけになり良い企画だと思います。
- 初心者には良い企画。
- K-30は扱いやすいカメラだった。

\*単元株式ご所有の株主様のみを対象とさせていただきます。

## ■ 「東証IRフェスタ2013」に出展しました

個人投資家の皆様へリコーへのご理解を深めていただくことを目的に、2月15日(金)、16日(土)に東京国際フォーラムで開催された、東京証券取引所主催の「東証IRフェスタ2013」に出展いたしました。

開催期間中は、「新しいワークスタイルをワンストップソリューションで支援」というタイトルで会社説明会を実施しました。さらに当社ブースでもミニ会社説明会を実施し、多くの個人投資家の皆様にご参加いただきました。



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

株主名簿  
管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先  
(電話照会先) 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL(0120)782-031(フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の  
全国各支店で行っております。

### ■住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ■「配当金計算書」について

配当金お支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

## INFORMATION

### WEBサイトのご案内 <http://www.ricoh.co.jp/>

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。



IR/財務情報 ●  
CSR経営 ●  
環境経営 ●  
ニュースリリース ●



### 今後のIRスケジュール(予定)

当社では迅速かつ正確な情報開示を心がけるほか、投資家の皆様に向けたさまざまな活動も行っています。以下は当社の今後のIRスケジュールになります。ご参考の上、引き続きご支援いただけますようよろしくお願いいたします。

なお、予定は予告なく変更される場合がございます。



### 電子ブック版RICOH REPORT

1年に2回、株主の皆様のお手元にお届けしている「RICOH REPORT」をホームページ上に電子ブックで掲載しています。



## 株式会社リコー

〒143-8555 東京都大田区中馬込一丁目3番6号  
TEL (03) 3777-8111



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

